



ソフトバンク サステナビリティハンドブック 2022

すべてのモノ・情報・心がつながる世の中を

成長戦略「Beyond Carrier」をより一層強力に推進し、
テクノロジーでSDGsの達成と
社会課題の解決に向けて進んでいきます。

INDEX

今年の特集1	2	マテリアリティ1 DXによる社会・産業の構築	6	マテリアリティ5 質の高い社会ネットワークの構築	15
今年の特集2	3	マテリアリティ2 人・情報をつなぎ新しい感動を創出	8	マテリアリティ6 レジリエントな経営基盤の発展	17
6つのマテリアリティ	4	マテリアリティ3 オープンイノベーションによる新規ビジネスの創出	10		
ソフトバンクのサステナビリティアクション	5	マテリアリティ4 テクノロジーのチカラで地球環境へ貢献 人間の経済活動が環境に及ぼす影響	12 14		





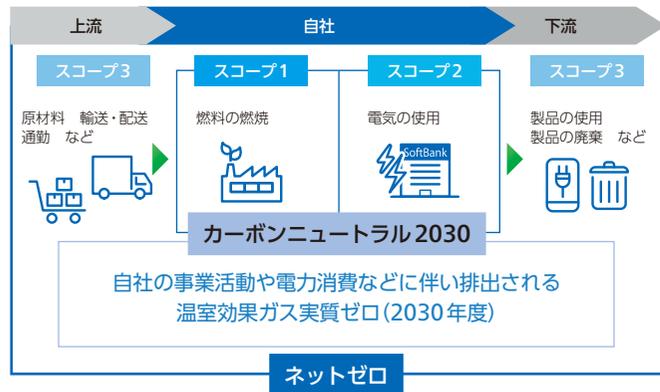
気候変動への取り組み

脱炭素社会の実現のために

サプライチェーン排出量を 2050年までに「ネットゼロ」に



自社の事業活動や電力消費などに伴い排出する温室効果ガス「スコープ1」および「スコープ2」に加えて、取引先などで排出される温室効果ガス「スコープ3」も含めた事業活動に関係する全ての温室効果ガスの排出量（サプライチェーン排出量）を、2050年までに実質ゼロにする「ネットゼロ」の実現に取り組みます。



サプライチェーン全体で排出される温室効果ガス実質ゼロ(2050年度)

- スコープ1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- スコープ2 他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出
- スコープ3 スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



国際社会の動き

2015年に採択されたパリ協定を境に、それまでの目標としていた低炭素社会から、排出量を実質的にゼロにする脱炭素社会へと国際社会がシフトしました。2021年10月31日から11月13日にかけて開催されたCOP26では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べ1.5℃以内に抑えるための削減強化策「グラスゴー気候合意」が採択され、気温上昇を1.5℃以内にするということが事実上の目標となり、各国の行動の重要性が改めて強調されました。

基地局使用電力の 再生可能エネルギー化を促進



事業活動に伴う温室効果ガスの年間排出量(2019年度実績)

CO₂換算で



ソフトバンクの総電力使用の半分以上を占める
携帯電話基地局での使用電力を再エネ化へ



■ 基地局再生可能エネルギー比率



国際的気候変動イニシアチブの 「SBT」認定を取得

当社の温室効果ガス削減目標が、2021年6月に国際的気候変動イニシアチブのSBTi (Science Based Targets initiative) による科学的根拠に基づいた「SBT (Science Based Targets)」に認定されています。



都市型養蜂【竹芝新八景・蜂の景】

本社ビル東京ポートシティ竹芝では、東急不動産株式会社が主体となって運営する竹芝UBC事務局にて、地域や従業員と連携した環境教育プログラムなどが展開されており、生物多様性の保全が進められています。

2021年6月には竹芝新八景の一つである蜂の景で採蜜体験会が開催され、緑豊かな環境づくりに努めると同時に、環境教育、地域交流などが行われました。



サンゴの保全活動を通じた海洋環境保護

沖縄県恩納村でさまざまな企業や団体と合同で実施している「未来とサンゴプロジェクト」では、サンゴの植え付けをするための募金活動やサンゴの苗を購入し、植え付けを行うボランティアツアー、近隣のビーチクリーン活動の実施や、サンゴの現状や大切さを多くの人に知ってもらうための情報発信などの取り組みを行っています。





ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進

年齢、性別、国籍関係なく、働きやすい職場を目指す

女性の活躍推進を目指した職場環境づくり



女性管理職比率増を目指す



2021年度 2030年度 2035年度

7.6% ▶ 15%超 ▶ 20%へ

■ 女性管理職数・比率

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
女性管理職数(人)	241	272	300	338	378
女性管理職比率(%)	5.6	6.2	6.6	7.1	7.6

【取り組み内容】

- ・有識者をアドバイザーに迎えた女性活躍推進委員会を設置
- ・社外取締役に女性2人を起用
- ・全社員を対象としたアンコンシャスバイアスのeラーニングを実施
- ・管理職を対象としたダイバーシティマネジメント研修を実施 など

男性の育児参画の促進のために



男性の育児休業の取得を推進するため、株式会社ワーク・ライフバランスが主催する「男性育休100%宣言」に賛同しています。

仕事と育児を両立させる男性社員をサポートするためにさまざまな取り組みを行っています。

男性育児休業取得率増を目指す

2021年度 2026年度

37% ▶ 50%へ



【取り組み内容】

- ・社内イントラネットでのポータルサイト設置
- ・対象社員とマネジメント層向けの研修の実施
- ・育児休業の積立年休充当が可能に
- ・男性育休取得推奨セミナーの開催 など

柔軟でメリハリのある働き方の推進



常に活力あふれる組織を目指し、誰もが働きやすい環境をつくるため、多様なワークスタイルと柔軟でメリハリある働き方を推進しています。



2021年度

テレワーク実施率
90%以上を目指す

95.9%



2021年度

年次有給休暇取得率
毎年70%以上維持

70.1%

サテライトオフィスの展開

働く場所の拡大による社員の生産性最大化を目的に、全社員へサテライトオフィスを展開しています。

場所や空間、コミュニティに縛られない、よりイノベティブでクリエイティブな働き方へ転換しています。



自社サテライト

6拠点



全国 WeWork

33拠点



他

340拠点

「ダイバーシティWEEK2022」を開催

社員が一人一人異なる多様性について気付きを得たり、SDGsに取り組む意味を感じて、縦にも横にもつながりが広がっていくことを目指し数週間にわたって開催しました。



日経Smart Work経営調査

第5回日経Smart Work経営調査(2022年)で、最高評価である5つ星を獲得しました。



さらに「ソフトバンクイノベーション」、IT人材や外国人の正社員比率の高さ、先端分野人材の育成に積極的である点など、イノベーションを推進する体制が評価され、2022年のイノベーション力部門も受賞しています。

6つのマテリアリティは、「経営理念」と「成長戦略」をつなぐ重要な羅針盤

マテリアリティは、事業活動を通じた社会課題解決と、企業活動を通じた社会課題解決で構成しています。これらは、現在の社会や当社のビジネスだけではなく、これからを見据えた視点とソフトバンクだからこそ取り組むオリジナリティを併せ持ったテーマとなっています。



経営理念
情報革命で人々を幸せに

ビジョン
世界に最も必要とされる会社

すべてのモノ・情報・心がつながる世の中を

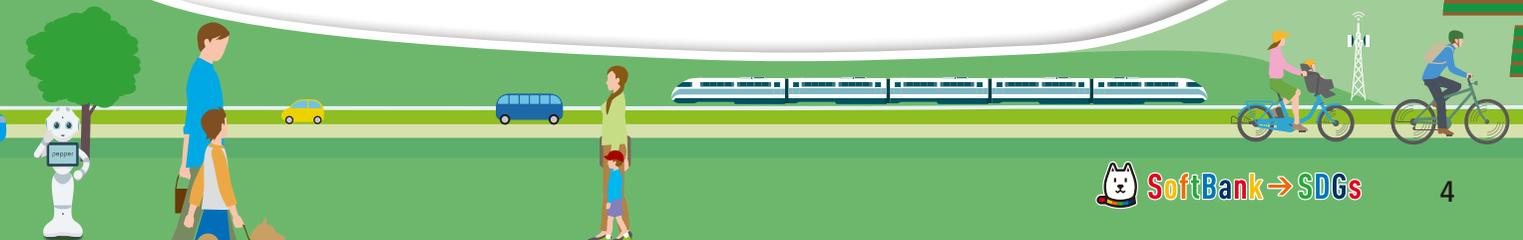
事業を通じた社会課題解決



企業活動を通じた社会課題解決



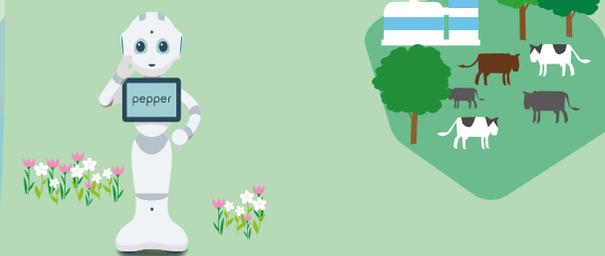
成長戦略
Beyond Carrier



ソフトバンクの サステナビリティアクション

2020年のSDGs推進室発足から、私たちはステークホルダーの皆さまにソフトバンクのSDGsへの貢献に対する姿勢や取り組みをお伝えできるよう、さまざまな接点を通じて積極的に発信を行っています。

これからも「すべてのモノ・情報・心がつながる世の中を」というコンセプトの下、SDGsの達成に向けた取り組みを続けていきます。



2022.8

「ネットゼロ宣言」発表*

※ソフトバンク株式会社単体



2022.3

SDGsアクションアワード開催



2021.7

「女性活躍推進委員会」

を2021年7月1日に

発足

管理職の女性比率を

2023年度までに

20%へ



2021.5

カーボンニュートラル2030

宣言



2021

2021.1

「日経 Smart Work大賞2021」

テクノロジー活用部門賞を受賞

AIやRPAなどの先端技術を活用した業務の効率化やキャッシュレス

決済サービスの展開などが評価！



2021.11

[DJSI Asia Pacific Index] の構成銘柄に初選定

2021.11

「日経SDGs経営調査2021」社会価値賞を受賞

企業活動を通じた社会課題への対応やダイバーシティへの取り組みなど、社会的に重要な価値への貢献が優れている企業として評価！

2021.11

ソフトバンク初のサステナビリティ債

「HAPS ボンド」発行

2020.4

SDGsをテーマとした

マテリアリティ策定



人権委員会を設置

人権デューデリジェンスの管理、人権侵害のおそれのある事項の調査・対応、および人権に関する研修の企画・実施による人権意識の内部浸透など日々の活動を通じ、当社の人権活動を推進

2020

2020.5

2020年3月期 決算説明会および

2020年6月の第34回定時株主

総会においてSDGs経営への注力

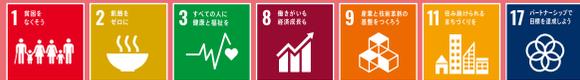
を明言

DXによる 社会・産業の構築



～デジタルトランスフォーメーションによる産業の再定義～

5GやAIなどの最新のテクノロジーを活用し、新しい産業を創出するとともに、世の中のさまざまなビジネスを変革していくためのソリューションを提供します。



創出 価値

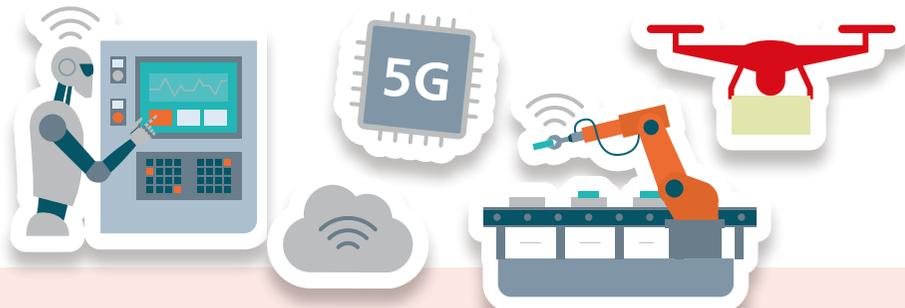
ソフトバンクが 取り組むこと

- 1 最先端テクノロジーによる産業基盤
拡充と効率化
- 2 DXによる新しい産業の創出
- 3 地域社会の活性化(地方創生)



Why Action

- 産業基盤高度化や老朽インフラ刷新への対応
- 人口減少に伴う働き手不足解決のため
- 地域間経済格差の縮小のため



創出価値 1

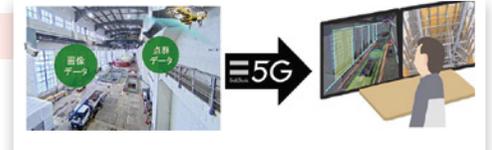
最先端テクノロジーによる 産業基盤拡充と効率化

KPI

- ソリューション等売上：CAGR* 10%
- ※ CAGR：年平均成長率

5Gを活用した工事現場のDX

5Gの「高速大容量」「低遅延」「多接続」の特徴を建設工事現場で生かす取り組みが始まっています。建設工事現場のリモート監督業務の実現に向けて、東日本旅客鉄道株式会社の千手発電所(新潟県十日町市)の大規模取替工事において、5Gとデジタルツインを活用した実証実験を実施しています。



建設現場(現実空間の画像・点群を取得) / オフィス(仮想空間の建設現場を確認)

遠隔での集合研修や作業支援を 可能にする「VR遠隔支援」

XR技術を用いたシステム開発を強みとする株式会社ポケット・クエリーズとの協業により開発した「VR遠隔支援」サービスの活用により、eラーニングなどでは得られないVR空間での実地体験を通じてスキルやノウハウを習得できます。



社会課題を空から解決 ドローンサービス「SoraSolution」



日本において社会インフラの老朽化が問題となっており、安全・安心を確保するための鉄塔や橋梁、建物の壁面などの点検作業は、高所のため危険を伴う場合が少なくありません。

誰でも簡単にドローンを活用できる「SoraSolution」では、点検作業の効率化や人の目が届きにくい高所作業の代替などが可能になります。現在、ドローン物流などの実証実験を積極的に行っており、今後はレベル4の実現を見据えて、長時間かつ広範囲なエリアで複数のドローンを安心・安全に運用するための運用基盤を構築しています。



創出価値
2

DXによる新しい産業の創出

KPI

- 24プロジェクトの推進
- 7事業領域*において各1件以上の社会実装事例の創出

* 7事業領域：小売・流通、物流、保険・金融、社会インフラ、ヘルスケア、スーパーシティ・スマートシティ、その他業界

需要を予測して店舗の無駄を無くす「サキミル」



食品業界は他業界に比べてIT関連への投資が進んでおらず、属人的でアナログなオペレーションに頼ることが多く、経験や勘に基づいた客数・需要予測が外れることでフードロスにつながってきました。こうした課題を解消するために、当社と日本気象協会が共同で、人流統計データ・気象データを活用し需要予測を行う、AI需要予測サービス「サキミル」を開発しました。これにより「業務の属人化」「食品ロス・機会ロス」「無駄な経費の発生」などの課題解決に貢献します。

物流業界を手助けする
DXソリューション「MeeTruck」

物流業界のDX化を支援するためにNIPPON EXPRESSホールディングス株式会社と共同でMeeTruck株式会社を設立しました。アプリケーション上で、誰でも簡単に受注した運送業務の案件登録やトラックの割り当て、ドライバーへの作業指示などを、場所や時間にとらわれず一元管理し、リアルタイムに共有することが可能です。



ものづくりDXの実証環境を大阪に構築

ロボット・テクノロジー関連の企業コンソーシアムである一般社団法人i-RooBO Network Forumと製造業のDXの支援を目的に、5GやIoTを活用して生産設備などのデータ収集・連携ができる実証環境を、大阪市の複合商業施設ATC(アジア太平洋トレードセンター)内に構築しています。

クラウドと閉域接続しているデバイスを使い遠隔地からの運用を想定した検証ができる他、「5G X LAB OSAKA」の検証環境やビジネスサポートを活用することで、製造業向けの新たなソリューションの開発・検証のスピードアップが期待できます。

創出価値
3

地域社会の活性化(地方創生)

KPI

- 連携協定自治体とのマテリアリティに関する取り組み実施：75件以上

連携協定自治体数

95団体

(注)2022年10月31日時点

自治体や団体との連携



自治体が抱えるさまざまな課題の検証や先進的な取り組み、最先端のテクノロジーを活用した課題解決に先駆けて取り組んでおり、ICTを活用して地域社会の課題解決を支援しています。また、当社DX人材の地方自治体への派遣や地方自治体職員のDX推進に向けた意識醸成を目的としたセミナー等の開催を通じ、地方自治体や地域とのつながりを深めています。

地方の交通課題の解決「自動運転BRT」

地域の関係団体などの計画的なまちづくりと連携し、持続可能な交通サービスを実現する取り組みとして、「自動運転・隊列走行BRT(Bus Rapid Transit:バス高速輸送システム)」の技術開発を行っています。

西日本旅客鉄道株式会社と自動運転と隊列走行技術を用いたBRTの実証実験を2021年10月から専用テストコース(滋賀県野洲市)で開始しています。



高度デジタル人材と地元企業の協働による地域課題解決

デジタル技術を活用し都市と地方の格差解消を目指す政府の「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、5G基地局の整備や地域DXの推進を目的とした地方自治体との連携協定などに取り組んでいます。

経済産業省が2021年度に実施した高度デジタル人材(都市部の企業のデジタル技術に精通した人材)と地域の中小企業が、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデル案の作成を協働で行う実証プログラムにおいて、当社は沖縄担当の高度デジタル人材の一員として沖縄県庁の方とチームを組み、沖縄の観光業におけるビジネスモデルを提案しました。



人・情報をつなぎ 新しい感動を創出



～高度な通信・ICTによるライフスタイルの向上～

スマートデバイスの普及を促進し、これらを活用した新しい体験の提供を通じてお客さまの豊かなライフスタイルを実現すると同時に、人・情報をつなぎ魅力的なプラットフォームを提供し、お客さまとパートナー双方にとっての価値を生み出します。



創出価値

ソフトバンクが取り組むこと

- 1 スマートデバイス普及を通じた魅力的な顧客価値の実現
- 2 誰もが情報へアクセスできる環境の提供
- 3 ICT活用による新たなライフスタイルと生活基盤の高度化



Why Action

- スマートデバイスの普及と活用による豊かな日常生活の実現のため
- 情報格差の解消、情報やサービスへの需要者と供給者のマッチング



創出価値

1

スマートデバイス普及を通じた魅力的な顧客価値の実現

KPI

- スマホ累計契約数：3,000万件(2023年度)
- NPS※向上に向けた調査：実数把握

※ Net Promoter Score(ネットプロモータースコア)：顧客ロイヤルティを測る指標



5G サービスについて

「料金」「プロダクト」「コンテンツ」「セールス・サポート」「ネットワーク」の5つのカテゴリで5G No.1を目指し取り組んでいます。

福岡ソフトバンクホークスと協業して PayPayドームをメタバース化

2022年5月27日から29日にかけて福岡PayPayドームに来場されたお客さまを対象に、VPSを活用して現実空間と融合したAR演出を楽しんでいただきました。



© Fukuoka SoftBank HAWKS

スマホやパソコンなどのブラウザから簡単にアクセスできる「5G LAB」の新サービスで「バーチャルPayPayドーム」が見学可能です。3Dアバターを操作して、PayPayドームの外周やコンコース、ドーム内を散策するといった来場体験ができる他、試合中のピッチャーの投球(球速・軌跡)を解析し、準リアルタイムにボールの軌跡をバーチャル空間に再現する「準リアルタイム投球体験」も楽しめます(PayPayドームでの試合中のみ視聴可能)。



準リアルタイム投球体験



バーチャルPayPayドーム外観

アジア最大規模のメタバースプラットフォーム「ZEPETO」にソフトバンクショップがオープン



世界で3.5億ユーザーが参加するアジア最大規模のメタバースプラットフォーム「ZEPETO」(運営：NAVER Z Corporation)に、アバターのショップクルーが接客するバーチャル携帯キャリアショップ「ソフトバンクショップ in ZEPETO」をオープンしました。



創出価値
2

誰もが情報へアクセスできる環境の提供

KPI

- Yahoo!ニュースDAU*数：4,500万件
- 世界中のインターネット通信拡大に向けたHAPSアライアンスの推進：取り組み推進
- スマホ教室開催数：80万回

* DAU：デイリーアクティブユーザー数

スマホアドバイザー制度・スマホ教室の開催



当社のショップでは、スマホのプロであるソフトバンク認定のスマホアドバイザーがお客様からのご相談に応じています。ご利用状況をお伺いしながら、お客様に最適な料金プランのご案内や機種選びから、フィルタリングなどの初期設定、修理相談までしっかりとサポートします。

スマホなんでもサポート号

高齢者のデジタルデバインド解消を目的に、全国の自治体と連携してMONET Technologies株式会社の協力の下、移動型スマホ教室のための車両「スマホなんでもサポート号」の運用を開始しました。全国10地域の13自治体で4月中旬以降順次スマホ教室を開催しており、スマホを持っていない方や他社のスマホを契約中の方も含め、どなたでも無料で受講が可能です。



困りごとを抱えている方の活躍の場を広げるアプリ「アシストガイド」



「アシストガイド」は、日常生活の「やること」や「やりかた」を視覚的に並べられるアプリで、一つ一つの活動をスマホやタブレットのカメラで写真にしておき、それに解説を付けて順番に並べることで、活動の全体像を把握できます。

2021年11月、2022年7月には、国立大学法人香川大学と香川県高松市で鉄道とバス乗車の実証実験を実施しました。A地点からB地点までの行き方をアシストガイドを使って写真の手順にすることで、これまで電車やバスに乗ることが難しかった知的障がいや発達障がいのある方が、一人で移動することができました。

創出価値
3

ICT活用による新たなライフスタイルと生活基盤の高度化

KPI

- PayPay登録ユーザー数：6,000万人
- eコマース取扱高(物販)：3.8兆円(2024年度)

PayPayを中心とする金融サービスへの取り組み



スマホアプリを介してシームレスに支払いができるキャッシュレス決済サービス「PayPay」は2018年のサービス開始以降、ユーザー数・加盟店数を伸ばし続けています。金融サービスの拡充をはじめとするエコシステムの構築とともに、決済の枠を超え、ユーザーの皆さまのあらゆる課題解決を行うスーパーアプリを目指していきます。



バーコードを見せて支払い



QRコードをスキャンして支払い

スポーツ支援サービス「AIスマートコーチ」



「AIスマートコーチ」は、学校スポーツ(部活動)やアマチュアアスリートに向けて開発したサービスで「学ぶ」「比較する」「記録する」機能を有し、骨格推定AIやマーカー機能によるフォームのチェック・改善など、スポーツ技術の向上をサポートします。また、オンラインレッスンサービス「スマートコーチ」との連携で、元アスリートや専門コーチによるオンラインでの遠隔指導を受けることができます。



比較する

ウォーキングの習慣化を応援するフレイル予防アプリ「うごくま」

フレイルとは要介護状態と健康の間に位置し、身体や認知機能が低下した虚弱状態のことです。

埼玉県ふじみ野市と鳥取県の江府町と連携し、2022年6月から、フレイル予防としてウォーキングの習慣化を応援するスマホ向けの新アプリ「うごくま」を活用した実証実験を実施しています。



オープンイノベーションによる 新規ビジネスの創出



～海外グループ企業の新規ビジネスなどによる新たな価値創出～

グローバルのトップランナー企業とのつながりを生かし、新規ビジネスの創出および最新のテクノロジーやビジネスモデルを日本で展開するとともに、新たなビジネスの拡大や普及を支えていく高度な人材の育成と組織の構築を推進します。



創出
価値

ソフトバンクが 取り組むこと

- 最先端テクノロジーによる新しいビジネスモデルの展開
- 海外最先端ビジネスのインキュベーターとスパイラルアップ
- 成長をけん引する人材採用・育成と事業創出のための仕組みの構築

? Why Action

- ICTプラットフォームを活用したイノベーションの促進



最先端テクノロジーによる 新しいビジネスモデルの展開

創出価値
1

KPI

- HAPS 商用化に向けた取り組み推進(2027年度)
- 独自の電子基準点^{*1}高精度測位サービス「ichimill」^{*2}を利用した社会課題解決ビジネスの推進
 - 産学連携コンソーシアムの組成(2022年度)
 - インフラ監視ソリューションのサービスリリース実施(2022年度)

^{*1} GNSSの信号を受信する固定局として当社が設置している独自の基準点(GNSS(Global Navigation Satellite System): QZSS(準天頂衛星システム)やGPS、GLONASS、Galileoなどの衛星測位システムの総称)

^{*2} ichimill(イチミル): 準天頂衛星「みちびき」などのGNSSから受信した信号を利用してRTK測位(固定局と移動局の2つの受信機を利用し、リアルタイムに2点間で情報をやりとりすることで、高精度での測位を可能にする手法)を行うことで、誤差数センチメートルの測位を可能にするサービス

自動運転を活用した持続可能な公共交通の実現に取り組む「BOLDLY」



BOLDLY 株式会社は、バス路線の廃止や運転手の不足などを背景に、全国各地で実施する自動運転バスの実証実験や自動運転車両運行管理プラットフォーム「Dispatcher」の提供などを通して、自動運転を活用した便利で持続可能な移動サービスの早期実現に向けて取り組んでいます。



北海道土幌町で雪や氷点下の環境での実証実験
茨城県境町の町内を走る自動運転バス

位置情報を活用したビッグデータで、 ビジネスに新たな視点をもたらす「Agoop」



株式会社Agoopでは、承諾を得たユーザーのスマホアプリから取得した位置情報などを基に、流動人口データを生成・解析しています。

流動人口データは、健康・ヘルスケア、医療・福祉、防災・防犯、交通、観光、教育、金融など、あらゆるビジネスにおける需要を顕在化させ、より世界を豊かにします。

ヘルスケア分野の社会課題を解決 「ヘルスケアテクノロジーズ株式会社」



当社の子会社であるヘルスケアテクノロジーズ株式会社では、ヘルスケアアプリ「HELPO」を通して病気の予防や未病改善、健康増進に役立つ機能をワンストップで提供しています。



創出価値
2

海外最先端ビジネスの
インキュベートとスパイラルアップ

KPI ● 新事業領域での事業開始・展開の促進

キャッシュレス決済サービス「PayPay」

「PayPay」は、2022年10月時点で登録ユーザー数が5,200万人を突破しました。QRコード決済最大手として、社会を支えるインフラを担う責任と自覚を持ち、セキュリティ強化はもちろん、常に安定したサービスの提供に今後も注力していきます。



サイバー攻撃の兆候を
リアルタイムに検知・対処する「Cybereason」



「Cybereason」は、サイバー攻撃から企業や団体のシステムを安全かつ確実に保護するサイバー攻撃対策プラットフォームです。より強固なサイバーセキュリティ体制の構築をサポートすることで、日本の企業・組織が安心してDXを推進できる環境をつくることと、日本経済のさらなる発展に寄与することを目指しています。

創出価値
3

成長をけん引する人材採用・育成と
事業創出のための仕組みの構築

KPI ● ソフトバンクイノベンチャー 事業化促進

事業戦略に沿った成長機会を提供

新たなビジネスの創出と推進を支える人材の採用と育成のために、ソフトバンクならではの施策を推進しています。

インターンシッププログラム	事業創出／人材育成プログラム
<ul style="list-style-type: none"> JOB-MATCH インターン Beyond Border Week Challenge TURE-TECH 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトバンクイノベンチャー ソフトバンクアカデミア ソフトバンクユニバースティ



事業を支える研究開発

AIやIoT、ロボット、デジタルツインの他、6GやHAPSなどの次世代を見据えた先端技術の開発にも積極的に取り組んでおり、新たな価値や新事業の創出を追求しています。

未来コア・デジタル
技術共創ラボ

スマートシティなど次世代デジタルインフラの構築を推進

Beyond AI
研究推進機構

日本におけるAIの研究の促進と社会実装を目指した共同研究

ソフトバンク
次世代電池
Lab.

世界中のさまざまな次世代電池の評価・検証を行い、次世代電池の開発促進を支援

IoTやAIを用いた
チョウザメのスマート養殖
共同研究プロジェクト

低コストかつ効率的な養殖方法の確立を目指し、基礎研究を実施

国際会議
「SIGGRAPH Asia 2021」
で論文が採択

コンピューターグラフィックス上で魚のリアルな群行動シミュレーションや機械学習による尾数のカウントに成功

次世代の
バーチャル試着体験アプリ

株式会社ZOZO NEXT、MNインターファッション株式会社と共同で、次世代のバーチャル試着体験アプリを開発

テクノロジーのチカラで 地球環境へ貢献



～カーボンニュートラルと循環型社会の実現～

持続可能性のある地球を次世代につなぐため、最新のテクノロジーを活用し、気候変動への対応や循環型社会の推進、自然エネルギーの普及に貢献します。



創出価値

ソフトバンクが 取り組むこと

- 1 テクノロジーや事業を通じた気候変動への貢献
- 2 循環型社会の推進 (サーキュラーエコノミー)
- 3 自然エネルギー普及を通じた豊かな社会の実現

? Why Action

- 地球温暖化や気候変動に起因する自然災害に対応するため
- 限られた資源を再生・再利用する循環型経済や省エネルギー経済への移行を目指す



創出価値 1

テクノロジーや事業を通じた 気候変動への貢献

KPI

- 基地局再生可能エネルギー比率：70%以上(2022年度)
- 社会全体のCO₂削減への貢献：電気アプリなどを通じた家庭向け節電サービスの普及・拡大
- カーボンニュートラル達成(2030年度)*

* 当社のスコープ1(自らによる温室効果ガスの直接排出)およびスコープ2(他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出)の合計が対象

サプライチェーン排出量を2050年までに「ネットゼロ」に



農山村の森林整備に対応した 脱炭素型電動ロボットの研究開発

林業における社会課題解決に向けて、2021年度、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の研究プログラム「農山村の森林整備に対応した脱炭素型電動ロボットの研究開発」を受託し、森林総合研究所と共同で4足歩行ロボットの有用性を検証しました。



デマンドレスポンスサービスとして「エコ電気アプリ」を 無償で提供(SBパワー株式会社)



エコ電気アプリ画面イメージ



ソフトバンクでんきをご契約のお客さまに対して「エコ電気アプリ」を無償で提供しています。「エコ電気アプリ」は、過去の電気料金や1か月の電気代予測確認に加え、アプリを通して手軽に無理なく節電が可能な「節電チャレンジ」サービスを提供しており、ゲーム感覚で楽しく節電ができます。

創出価値
2

循環型社会の推進(サーキュラーエコノミー)

KPI

- 使用済み携帯電話リユース／リサイクル回収台数：1,000万台(2020～2025年度合計)
- 撤去基地局通信設備 最終処分率：1%以下(毎年)
- 生物多様性(自然資本)保全に関わる取り組み推進



リサイクルの大切さを学ぶ環境教室「リさ育る(りさいくる)」

携帯電話を実際に分解する体験を通じ、楽しみながらリサイクルの重要性について学べる環境教室を自治体などと協働で開催しています。



創出価値
3

自然エネルギー普及を通じた豊かな社会の実現

KPI

- 再生可能エネルギーの電力提供推進：再生可能エネルギー電力プランの提供拡大

「自然でんき」と「ソフトバンクでんき for Biz 高圧環境オプション」の提供



実質的に再生可能エネルギー比率100%・CO₂排出量ゼロ*の家庭向け料金メニュー「自然でんき」を北海道、東北、東京、中部、関西、中国、四国、九州の各電力エリアで提供しています。「自然でんき」の提供を通じて、2021年度はCO₂排出量約1.9万tの削減効果を生み出しました。

* お客さまへ供給する電気に、再生可能エネルギー指定の非化石証書を組み合わせることで、再生可能エネルギー比率100%かつCO₂排出量ゼロの電気供給を実質的に実現。



オフィスでのさまざまな取り組み



限りある資源の有効利用を図るため、持続可能な生産・消費活動を積極的に推進しています。

社内業務
ペーパーゼロ宣言

2012年4月に社内のペーパーレス「社内業務ペーパーゼロ宣言」を発表

2021年4月より押印電子化プロジェクトでさらなるペーパーレスを推進しています。



葛の活用

未利用資源である葛を使用した名刺を作成



紙袋を
リサイクル素材へ

社員が営業活動などに使うロゴ入り紙袋は、全てリサイクル可能な素材を活用



袋表面のプラスチック加工をなくしたことはもちろん、持ち手にもプラスチックは使わず、袋とのつなぎの部分も接着剤や留め具を使わず結んで留めています。

バイオマスプラスチックの活用

ショップで使用する手提げ袋を植物由来原料が80%と高い配合率のバイオマスプラスチックに順次切り替えています。

人間の経済活動が 環境に及ぼす影響



企業活動は自然資本から提供される生態系サービスの恩恵を受けています。

■ 人間の経済活動が環境に及ぼす影響



自然豊かな地球を次の世代に受け継ぐために
私たちは早急なアクションが必要です。

私たちは、生態系への影響に十分に配慮し、生態系が機能する持続可能な地球を次世代につなぐため、事業活動や社会貢献を通じて生物多様性保全の取り組みを推進しています。

■ ソフトバンクの取り組み

環境教育

倉本 聰氏主宰「NPO法人C・C・C富良野自然塾」の協力の下、社員を対象に「親と子の健全な関係づくり」「環境・自然を真剣に考える」をテーマにしたオリジナルプログラム「夏休み親子自然塾」を開催し、ゴルフ場跡地に植林し、元の森に還す未来へつなげる活動などを行っています。



1 box for 2 trees

アスクル株式会社のインドネシア製コピー用紙A4 5,000枚には原材料となるアカシヤやユーカリの木が1本必要です。コピー用紙1箱に対して原材料として2本の植林を確認していただくというトレーサビリティ調査を開始し、現在も継続しています。



チョウザメのスマート養殖プロジェクト

短期間および長期間養殖それぞれに適したIoTやAIを用いるスマート養殖の共同研究プロジェクトを行っています。



サンゴ保全

「未来とサンゴプロジェクト」では、海にすむ生き物たちのすみかとなるサンゴを守る活動として、サンゴの苗の植え付けやビーチクリーン活動などを行っています。



都市型養蜂【竹芝新八景・蜂の景】



質の高い 社会ネットワークの構築



～利便性が高く安定感・信頼のネットワークとセキュリティ～

通信ネットワークはライフラインであるという考えに基づき、どのようなときでも安定的につながるネットワークの維持に全力を尽くすとともに、お客さまの大切なデータを保護します。



創出価値

ソフトバンクが 取り組むこと

- 1 持続的な生活インフラの整備
- 2 防災・減災に貢献する盤石な通信インフラ構築
- 3 データセキュリティとプライバシー保護の取り組みの推進



Why Action

- 高品質なネットワークの維持運営
- 自然災害によるインフラ寸断の予防、早期復旧
- 高度化するサイバー攻撃への対応



創出価値 1

持続的な生活インフラの整備

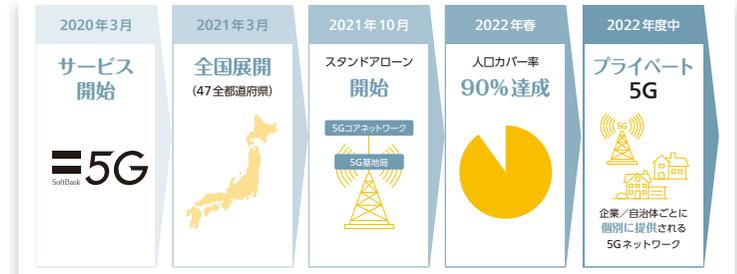


KPI

- 5G 展開計画
 - 基地局数：5万局超(2022年)
 - 人口カバー率：90.6%超(2022年度)
- ネットワーク重大事故発生件数：0件
- 大容量光海底ケーブル「ADC(Asia Direct Cable)」：運用開始(2023年度)

5Gネットワークの展開に向けた取り組み

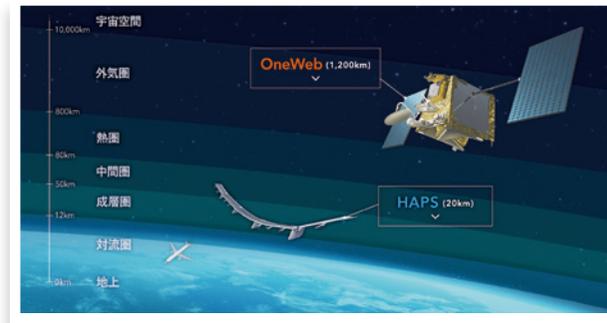
2022年3月末時点で5Gネットワークの人口カバー率は90%を突破し、5G基地局数は2022年1月末時点で全国2万3,000局を超えています。5Gの基地局を開設する際に独自開発したシステムを活用することで、5Gネットワークの早期展開を実現しています。



NTN構想 「OneWeb」と「HAPS」

世界において「どこでも、誰でも、つながる」社会を実現するため、「NTN (Non-Terrestrial Network: 非地上系ネットワーク)」の取り組みを進めています。

「NTN」構想では「OneWeb」と「HAPS」の2つの通信サービスによるNTNソリューションを展開します。高度1,200kmを周回する低軌道衛星「OneWeb」は低遅延で大容量の衛星通信サービスを提供します。高度20kmの成層圏を飛行する「HAPS」は、普段使うモバイル端末での利用が可能な通信サービスとなっています。

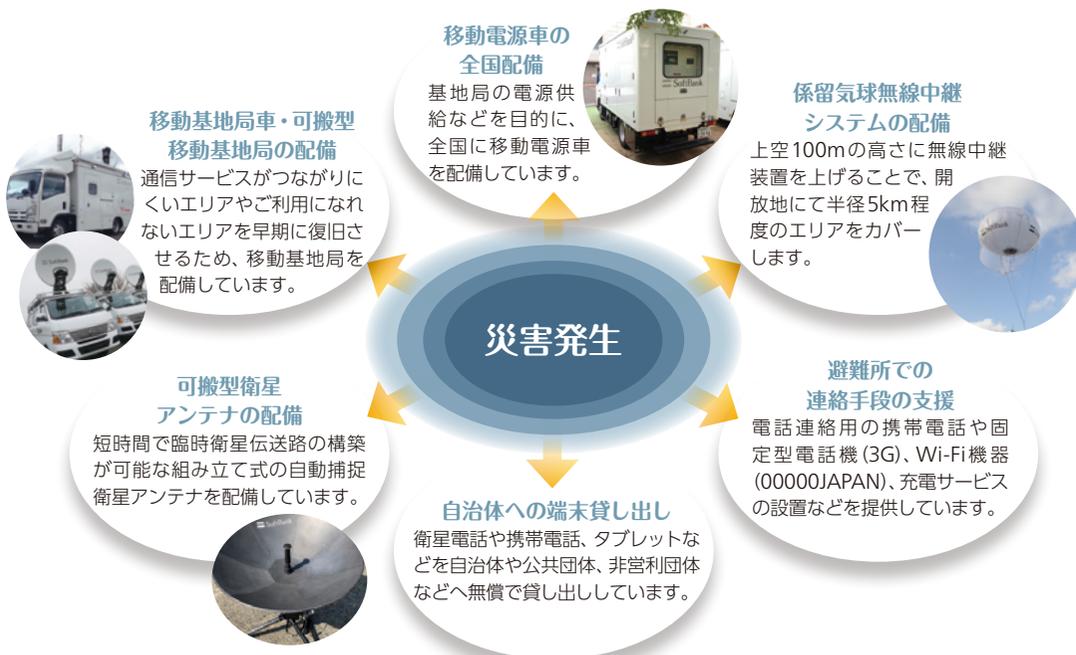


創出価値
2

防災・減災に貢献する盤石な通信インフラ構築 

KPI

- 東北ルート：光ケーブル構築（2022年）、商用運用開始（2022年度）
- 災害応急／復旧機材の維持・強化
 - 移動基地局車／可搬型移動基地局 200 台以上維持
 - 移動電源車配備台数：80 台以上維持
 - 可搬型衛星アンテナ：200 台以上維持
 - 災害復旧に関わる対外機関との連携強化



防災の取り組み

海上保安庁と締結した「災害時における通信の確保のための相互協力に関する協定」に基づき、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社と合同で災害訓練を実施しています。



ヤフー株式会社は、災害時にタイムリーな災害情報を住民の方に伝えることを目指し、各自治体との協定締結を進めており、現在、1,500の自治体と災害協定を締結しています。

創出価値
3

データセキュリティとプライバシー保護の取り組みの推進 

KPI

- 情報セキュリティ重大事故件数：0件（毎年）
- プライバシーに関連する重大事故件数：0件（毎年）
- お客さまによる自身の情報の取り扱い内容理解促進：プライバシーダッシュボード設定機能追加

お客さまの情報を守るためのさまざまな取り組み

徹底した情報管理	<p>▶ ファシリティ環境において、レベル1から5の5段階のセキュリティエリアを設定し、それぞれのレベルに応じて厳格に管理しています。レベル3以上を「高セキュリティエリア」と位置付け、個人情報や通信の秘密など、特に重要な情報はこのエリア内のみで取り扱っています。</p>
セキュリティ監視	<p>▶ お客さまの情報や通信サービスを提供する設備を守るため、SOC (Security Operation Center)にて、セキュリティアナリストが24時間365日、セキュリティ監視を実施しています。</p>
お客さまの利用環境を守る取り組み	<p>▶ お客さまが快適に携帯電話やスマートフォン、インターネットのサービスを利用できるよう、さまざまなセキュリティ対策を提供しています。</p>
迷惑メール対策	<p>▶ 悪質メールを防ぐため、蓄積されたスパムデータベースを基にメールの内容を機械的に判断し、スパムと判断されたメールの受信をブロックする迷惑メールフィルターを標準で提供しています。</p>
不正アクセス防止対策	<p>▶ 会員ページ「My SoftBank」「My Y!mobile」への不正アクセスを防止し、お客さまの個人情報を守るため、セキュリティを強化しています。</p>

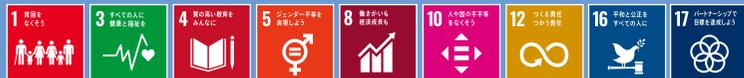


レジリエントな 経営基盤の発展



～強靱かつ誠実な企業統治と組織・人事～

コーポレート・ガバナンス体制の高度化を図り、社会に信用される誠実な企業統治を行います。また、多様な人材が活躍できる先進的職場環境を構築し、イノベーションの創発と従業員の幸福度の向上を目指します。



創出価値

ソフトバンクが 取り組むこと

- 1 コーポレート・ガバナンスの高度化と実効性の担保
- 2 ステークホルダーとの協働による持続的な発展
- 3 社員の幸福度向上とダイバーシティ & インクルージョン
- 4 先進的な職場環境による生産性の向上

? Why Action

- コーポレート・ガバナンスの強化
- サプライチェーン全般にわたる社会・環境側面に対応
- 働き方改革、ダイバーシティ & インクルージョンを推進



創出価値 1

コーポレート・ガバナンスの 高度化と実効性の担保



KPI

- コンプライアンス違反件数：実績把握（毎年）
- コンプライアンス研修受験率：99%以上（毎年）
- 正社員における内部通報窓口の認知度：99%以上
- 取締役会の実効性担保：評価の実施
- 全取締役取締役会平均出席率：75%以上

コンプライアンス違反件数の実績を把握する

2021年度

懲戒件数 40件

相談窓口を通じて指摘された問題点は、直ちに実態調査を実施しています。



コンプライアンス研修の受験率99%以上を達成する

2021年度

受験率

100%

eラーニング研修の他にもさまざまな取り組みを行っています。



コンプライアンス
ハンドブックの展開

コンプライアンス
浸透月間の開催

正社員における内部通報窓口の認知度99%以上を目指す

コンプライアンス上のリスクを早期に発見・改善または未然に防止するためのホットライン（内部通報制度）の認知度99%以上を目指しています。

「ホットライン」は利用しやすいように、対面・電話・電子メール・郵送の手段で受け付けており、匿名での相談・通報にも応じています。



創出価値
2

ステークホルダーとの協働による持続的な発展



KPI

- サステナビリティ調達調査回収：90%以上(毎年)
- ハイリスクサプライヤーに対する改善活動の支援：100%実施
- サプライヤー視察／CSR監査：10社以上
- NPO団体等連携数：1,000団体(2023年度)

多様なステークホルダーとの関わりの上で事業を推進しています。

持続的な成長を遂げていくために、ステークホルダーの皆さまと良好な関係を構築し、共に社会価値の創出を目指します。



2021年度

サステナビリティ調達調査票

回収率実績 **93%**

サプライチェーンにおける潜在的なサステナビリティリスクを特定し、適切に対応するために毎年実施

創出価値
4

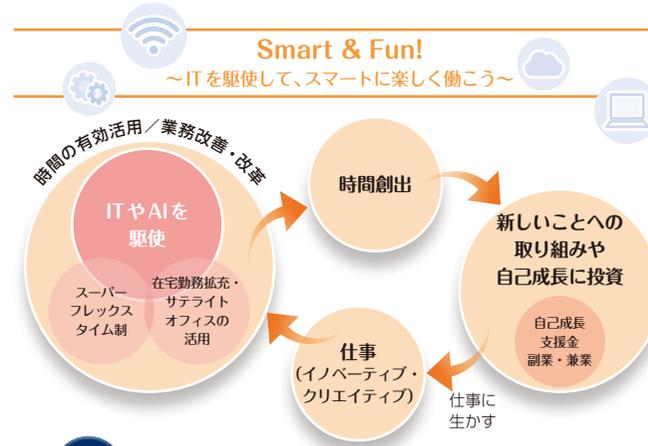
先進的な職場環境による生産性の向上



KPI

- アフターコロナを見据えた働き方の推進
- 多様な働き方を推奨するオフィス環境の提供：実数把握(毎年)
- テレワーク実施率*：90%以上(毎年)
- 喫煙率：前年度比1%以上減、20%未満(2030年度)
- 調査国内ランキング上位：主要調査上位(毎年)

* 月1回以上テレワークを実施した社員の割合



働き方に関する社内スローガンとして「Smart & Fun!」を掲げ、スマートに楽しく仕事をして、よりクリエイティブ、よりイノベティブなことへ取り組める状態を目指した「働き方改革」に取り組んでいます。

創出価値
3

社員の幸福度向上とダイバーシティ&インクルージョン



KPI

- 女性管理職比率：20%超(2035年度)–その過程である2030年度には15%超(2021年度比で2倍)を実現
- 障がい者雇用：法定雇用率以上(毎年)
- 有給休暇取得率：70%以上維持(毎年)
- 従業員および工事に伴う重大事故：0件(毎年)
- 育児休職からの復帰率：100%(毎年)
- 男性育児休職取得率：30%(2023年度)、50%(2026年度)
- 介護による退職者数：0人(毎年)

	ダイバーシティ	人材育成/キャリア形成	シニア活躍支援
制度	<ul style="list-style-type: none"> ● チャイルドプラン(不妊治療のための休暇) ● 妊娠/出産/育児支援制度 ● 介護支援制度 ● ショートタイムワーク など 	<ul style="list-style-type: none"> ● ジョブポスティング制度 ● フリーエージェント制度 ● SB流社内副業制度 ● 資格取得支援制度 ● 自己申告制度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 継続雇用制度 ● 50歳以上限定ジョブポスティング制度 など
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者採用 ● 女性向け採用イベント ● 産前休暇前相談会 ● 育休中/育休明けオリエンテーション ● 仕事と介護の両立支援セミナー ● ジェンダー・ペイ・ギャップ解消の取り組み など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新入社員/3年目社員研修 ● 新任課長層/部長層研修 ● SB版キャリアドック ● ソフトバンクアカデミア ● ソフトバンクユニバーシティ など 	<ul style="list-style-type: none"> ● セカンドライフセミナー ● 継続雇用社員の短時間、短日数勤務 ● 60歳超フリーランス(業務委託)契約 ● 65歳超雇用延長 など